

松山の自転車環境について考える

# 松山自転車ワークショップ

実施結果

Vol.2

2010.11.27 (土)  
10:00~12:00

- 10:00 開会
- 10:10 【全体討議1】
- ・評価をする上でのルールづくり
  - ・評価レベルの統一方法
- 【班別討議】
- ・自転車マップの作成
- 【全体討議2】
- ・評価の確認
  - ・マップ掲載事項について
  - ・評価の低い区間の問題点について
- 12:00 閉会

自転車に乗って地図を作ってみませんか？

国土交通省松山河川国道事務所  
松 山 市

# 1. ワークショップ概要

## (1) 開催目的

松山市は温暖な気候と平坦な地形という自然条件に加え、松山城を中心として官公庁、企業、学校、商業施設、観光施設など都市機能が都心地区に集積することから、多様な移動目的による自転車の利用率が非常に高い都市です。しかし、一方で、自転車の通行帯はわずか 1.8km しかない状況で、自転車の良好な走行環境の形成が求められているところです。

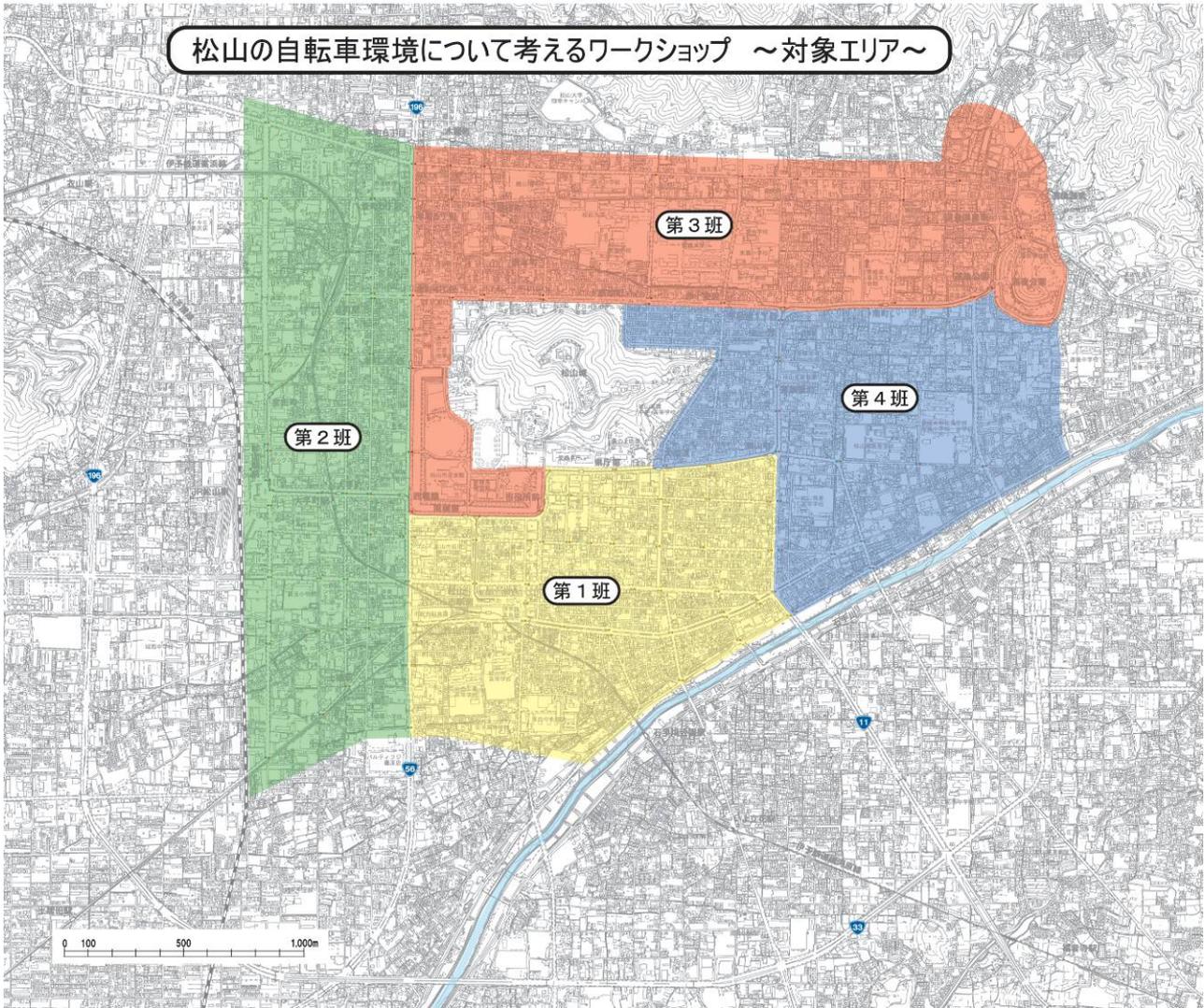
また、松山市が目指す、「過度に自動車に頼らない総合交通体系」を実現するためにも、自転車にやさしいまちづくりを進め、より一層自転車の利用率を高め、地球温暖化防止や渋滞緩和・解消に寄与することが必要となっています。

こうした状況を背景として、本ワークショップは、別途予定されている「都市の制約条件を踏まえた自転車交通ネットワーク社会実験」の一環として、一般市民の参加のもと、市内を自転車で実際に走行して、一般道路利用者の視点からの道路の走りやすさを点検するとともに、点検結果を踏まえて評価を行い、自転車の走りやすさマップを作成することで、広く一般への情報提供と意識啓発を図ることを目的として実施するものです。

## (2) 実施概要

開催日時	平成22年11月27日(土) 10:00~12:00	
開催場所	シュロス日銀前4F 第1会議室	
主催者	国土交通省 松山河川国道事務所、松山市	
主催者挨拶	国土交通省 松山河川国道事務所 五十川所長	
運営	NPOまちづくり支援えひめ外	
参加者	一般参加	10名
	関係機関	愛媛県警 1名
	事務局	松山河川国道事務所 3名 松山市 4名
	スタッフ	NPOまちづくり支援えひめ3名 外4名
	計	25名
配付物	【受付時に配布】 <ul style="list-style-type: none"><li>・資料1：実施要領</li><li>・資料2：第1回WS評価マップ</li><li>・資料3：評価フロー図</li><li>・資料4：マップ記載施設情報候補一覧</li><li>・名札</li></ul> 【予め各テーブルに配布】 <ul style="list-style-type: none"><li>・筆記用具等（カラーマジック、サインペン、付箋紙）</li><li>・第1回WS評価マップ（原図・整理版）、対象路線図・・・大判</li></ul>	

松山の自転車環境について考えるワークショップ ～対象エリア～



▲ 対象エリア

## 2. タイムテーブル・進行次第

内容	時刻		事項
集合	09:30~10:00	30分	・参加者集合・受付
↓	↓		↓
意見 交換	10:00~10:05	5分	● 開会（開会挨拶）
	↓		↓
	10:05~10:15	10分	● WS概要説明 ・趣旨、内容等
	↓		↓
	10:15~10:25	10分	● 全体討議1 ～道路の評価方法を考えよう～ ・評価を行う上でのルールづくり ・評価レベルの統一方法
	↓		↓
	10:25~11:35	70分	● 班別討議 ～自転車マップを完成させよう～ ・評価対象道路のランク付け (自転車マップの作成)
	↓		↓
	11:35~11:55	20分	● 全体討議2 ～自転車マップの作成ルールを考えよう～ ・各班の評価レベルについて ・マップ掲載情報の洗い出し ・評価の低い区間の問題点整理
	↓		↓
	11:55~12:00	5分	● 今後の予定・閉会（閉会挨拶） ● アンケート
	↓		↓
	12:00		・終了（解散）

### 3. 全体討議 1

- ・評価を行う上でのルールづくりや評価レベルの統一方法について、事務局から説明。
- ・当該案に対して、参加者全員で意見交換を実施。

〈主な意見〉

- ・評価の対象については、4車線以上だけでなく、2車線でも両側歩道がある場合は、上下別々で評価した方がいいのではないか など

全体討議 1の様子



### 4. 班別討議

- ・第1回ワークショップ (H22. 10. 31) 時に行った自転車の走りやすさの評価結果を確認するとともに、当該結果をもとに、全体討議 1 での内容を踏まえて、再評価・評価区間の追加を実施。

班別討議の様子



## 5. 全体討議2

- ・各班で作成したマップ全てを重ね合わせ、評価の偏りや問題箇所について意見交換を実施。

### 〈主な意見〉

- ・自転車の走行環境の向上のため、違法駐輪排除ということも大事であるが、利便性の高い駐輪場をもっと整備すべきではないか。
- ・交通量の多少や路肩の幅などについては、定量的な基準が必要ではないか。 など

全体討議2の様子



## 6. 今後の予定

- ・今回WSで作成していただいた自転車マップをとりまとめた上で、まずは、中心部の中学・高校生に配布する。自身の感覚と合っているか、その他追加した方がいいと思われる情報等の意見を収集した上で、事務局で最終とりまとめを行いHP等で公表する。
- ・また、今回議論した評価方法や作成ルールをベースに、他地域へ順次展開していく。
- ・最終的には環状道路内エリアくらいで正式な自転車マップを作成し、広く一般に情報提供していきたいと考えている。